

「キッズウィーク」の推進について ～家族や仲間とゆったりまとまった休日を～ (案)

資料 2-1

1. 方向性

- ・豊かな人生を送り、子供たちの豊かな心や人間性を育むためには、家族や仲間とともにゆったり休日を過ごすことにより、絆を深めたり、趣味に打ち込んだり、地域行事に参加したりすることなどが重要であり、1億総活躍社会に向け、働き方改革と表裏一体のものとして、休み方改革を進めることが課題。
- ・有給休暇取得率が低い状況の中、家族などで休日をゆったり過ごすことを促進するため、学校休業日の分散化及びそれに合わせた有給休暇取得促進が必要。
- ・休日の在り方の多様化により、観光需要の平準化による雇用の拡大や地域活性化につながる可能性。

夏休みなどの長期休業日を分散化することで

地域ごとに「キッズウィーク」を新たに設定し、大人と子供が一緒にまとまった休日を過ごす機会を創出 (例えば、親子で一緒に月～金を休みとし9連休に)

2. 対応策

(1) 平成30年度から学校休業日を分散化させます！

法令上の手当てにより、夏休みなど長期休業日から平日に学校休業日を分散化
(休業日の設定状況や工夫事例の周知)

(2) 子供だけでなく、大人もしっかり休みます！

経済団体、企業等に学校休業日に合わせた休暇取得を強く要請
(有給休暇取得率を70%に(20%UP))

(3) 休みに、多様な活動機会を確保します！

文化・スポーツ団体、企業等に活動機会の確保等を要請
(特に、親子が親しむことができるプログラムが提供できるよう要請)

休日の推進

(4) これらの取組を官民一体となって推進します！

- ①大人と子供が向き合い休み方改革を進めるための「キッズウィーク」総合推進会議【国】
(通称：キッズウィーク総合推進会議)
官民による意見交換、調整 等
- ②地域における休み方協議会(仮称)【地域】
地域関係者による、学校休業日設定や休暇促進方針・対策の協議
- ③観光ビジョン推進地方ブロック戦略会議WG【地域】
市区町村における取組状況の確認、課題や好事例等の共有
- ④ロゴマークやキャッチフレーズによる盛り上げ【機運醸成】